

民主島根

2019年
9.29
第1344号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国地方各地でいっせい宣伝 消費税10%増税中止を 地方議員ら先頭に県内各地で訴える

中国5県の日本共産党は20日、各地で一斉宣伝し、10月からの消費税増税中止などを訴えました。

松江市の商店街では、後藤勝彦県委員長、県議団、市議団らが宣伝し、「暮らしを壊す消費税の増税、年金の減額を止めよう」「中国電力島根原発（同市）は絶対に動かしてはならない」などと訴えました。店から出て演説を聞く人もありました。

後藤県委員長は「安倍改造内閣は、日本会議に名を連ねるメンバーがそろっています。改憲志向の内閣で非常に危険です。私たちはみなさんと一緒に声を上げ、来たる総選挙で新しい政治をつくるために力を尽くします」と訴えました。



宣伝する後藤勝彦県委員長、尾村利成、大国陽介両県議、橘祥朗、吉儀敬子、田中肇の3人の市議団（松江市）

9月県議会の論戦から

日本共産党の大国陽介県議は9月17日、一般質問に、尾村利成県議は19日、一問一答質問に立ち、県知事や県執行部をたどりました。（2面に続く）

大国県議の一般質問

■ 保育施設の給食費無償化を

大国県議は10月から保育・幼児教育の無償化に伴い、保育料に含まれていた給食のおかずやおやつ代に当たる副食費が実費徴収になる問題などを取り上げ、県として国に給食費の無償化を要求するよう求めました。大国氏は、副食費の実



尾村利成県議の一般質問の様子

尾村県議の一問一答

■ 子ども医療費助成の拡充を

尾村県議は子どもの医療費助成制度を巡り、丸山達也知事が4月の県知事選で公約に掲げた「小学校卒業までの医療費無料化」を断念したことについて、県政への不信が広がっていると指摘しました。

県が示している案は子どもの医療費助成の対象を現在の未就学児から小学6年生まで拡大するものの、自己負担（1医療機関当たり通院は月1000円、入院は月2000円）は継続します。そして、小学校入学前までは現行の補助事業で対応し、小学1年～6年生までは交付金制度を採用する



丸山知事は「島根創生計画」（2020～24年度）に盛り込む人口減少対策の財源確保に向け、すべての既存事業（ソフト、ハード事業を含めて約930事業）を対象に見直しを進める考えを示しています。

尾村県議は、県が2005年10月から制度の持続的安定の名のもとに、福祉医療費助成に1

保育施設と保護者、子どもとの関係に悪影響を及ぼすのではないかと危惧される」と指摘しました。吉川敏彦健康福祉部長は、保育施設の事務が増えることが懸念されるとし、「副食費の問題については、市町村や保育の現場から対応に苦慮している」との声や給食費も無償化すべきとの意見も聞いている」と述べ、「今後発生する課題については随

時把握し、国へ適切な対応や制度の改善を要望していく」と述べました。大国氏は「給食費は単に食事を提供することに留まらず、保育の一環として行われていることから、給食も無償化するのが本来あるべき姿だ」と訴えました。吉川部長は「市町村や保育現場の状況や要望を国へ伝えていく」と応じました。

■ 県民合意ない事業こそ見直しを

丸山知事は「島根創生計画」（2020～24年度）に盛り込む人口減少対策の財源確保に向け、すべての既存事業（ソフト、ハード事業を含めて約930事業）を対象に見直しを進める考えを示しています。尾村県議は、県が2005年10月から制度の持続的安定の名のもとに、福祉医療費助成に1

鼓動

「1946年5月1日焼け跡にブラックや闇市のひしめく東京・新宿駅に、くたびれたカバンを提げ、つば広の帽子をかぶった一人の女性がおりた。絵描きとして自立する」という熱い思い、そして消せない過去との葛藤を抱えて。女性の名は岩崎ちひろ（公演：パンフレットより）。▼いわさきちひろ生誕100年にあたって昨年前進座が送った「ちひろー私、絵と結婚するの」公演が10月、いよいよ島根にやってくる。子どもたちの幸せと平和を願ったいわさきちひろの人生に触れる公演、本当に楽しみだ▼「ちひろ」の名前は知らなくとも、ちひろの描いた、愛らしくやさしい子どもたちの絵を見ることがあるという人は多いはず。ちひろの息子で美術評論家の松本猛さんは「ちひろは命の象徴として子どもを描き続けた」と指摘する。戦争中に奪われた無垢な子どもたちの命、絵を志しながらも戦争で消えていった若者の命。子どもたちの絵には、命への深い深い思いがこめられている▼両親の猛反対で絵の道をあきらめ、親が決めた相手と結婚。しかし、訪れる夫の自殺という悲劇。その後、ちひろは戦争に反対した日本共産党の存在に感銘を受け、自立を決意していく。公演では、画家をめざして格闘するちひろと出会うことができるだろう▼【松江】10月16日島根県民会館。14時開演・18時半開演の2回公演。一般5千円、学生・障がい者3千円／【大田】10月15日大田市民会館。15時開演。S席5千円、A席3千円、学生・障がい者3千円。チケットは党県委員会でも扱っています。ぜひ多くの皆さま、観劇を。（後）